

平成16年度秋田県病院事業会計決算審査意見書

(審査の結果及び意見)

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、その調製手続き及び計数に誤りがなく、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していることを確認した。

2 経営状況について

(1) 経営成績について

平成16年度の経営成績は、収益総額76億3,824万円、費用総額74億8,158万円、差し引き1億5,666万円の純利益となっているが、純利益は前年度に比べ1億4,705万円(48.4%)減少している。

純利益が減少した要因は、前年度に比べ医業収益が6,222万円(1.7%)増加したものの、一般会計補助金が2億9,992万円(7.5%)減少したことによるものである。

純利益は、その一部が繰越欠損金(966万円)の補てんに充てられ、その結果、当年度未処分利益剰余金は1億4,700万円となっている。

(2) 財政状態について

平成16年度末の財政状態は、資産総額214億7,470万円、負債総額4億4,852万円、資本総額210億2,618万円となっている。

前年度末に比較して資産総額が10億9,937万円(4.9%)の減、負債総額が2億7,990万円(38.4%)の減となっており、資本総額では8億1,947万円(3.8%)減少している。資本減少の要因は、借入資本金(企業債)が定期償還により9億8,099万円減少したことによるものであるが、当年度純利益等の計上により剰余金は前年度より1億6,152万円増加しており、財政状態は良好である。

また、流動資産は50億4,357万円、流動負債は4億4,852

万円で差し引き正味運転資本は45億9,505万円と前年度末より5,490万円(1.2%)増加している。

3 留意改善を要する事項

診療費の自己負担に係る未収金については、「未収金取扱要領」を定め債権管理に努めているが、前年度より増加していることから、その発生防止策を講ずるとともに、より適切な業務管理を推進し未収金収納に努めていく必要がある。

両病院は、経営の健全化を推進するため、平成16年度に「中期経営計画」(平成17年度から19年度までの3カ年)を策定しているが、この目標を達成するために、脳血管研究センターにおいては、病院部門単独の経営分析のうえに立った効率的な運営が行いえるよう、病院部門と研究部門の会計区分を明確にされたい。また、県民により高度な医療を提供するため、心臓を専門とする成人病医療センターとの連携を強化し、総合的かつ一体的な循環器医療を推進されたい。リハビリテーション・精神医療センターにおいては、地域リハビリテーション検診事業の拡充を推進されたい。

今後は、医療情勢の変化に応じて、両病院の経営計画を随時、弾力的に見直し、独立行政法人化についても更に検討しながら、改善目標達成に向けた経営基盤の強化に積極的に取り組まれたい。